

【回答期日】 令和7年8月25日（月）

【回答先】 Eメールアドレス：iryouseisakuka@pref.tokushima.lg.jp FAX:088-621-2898

徳島県保健福祉部医療政策課 看護担当 宛（TEL:088-621-2195、2226）

※オンライン申請での回答が可能です。

徳島県電子申請サービスより「看護職員等の確保に関するアンケート調査」を御確認ください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-tokushima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=14831

※Excel形式での回答が可能です。

調査票は、徳島県ホームページ「医療とくしま」からダウンロードしてください。

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/med/categoryMedical/search/7305918/>

令和7年度 徳島県 看護職員等の確保に関するアンケート調査

貴施設における看護職員等の雇用状況や確保のための取組について、御回答ください。

※関連施設が複数ある場合は、各施設毎に御回答ください。（担当者、連絡先は重複して構いません）

（施設名）

（電話番号）

（部署）

（Eメール）

（御担当者名）

※個人用のアドレスではなく、組織用のアドレスを優先して御記入ください。

※本調査における「看護職員」は、看護師・准看護師・助産師・保健師を指します。

※調査対象期間は、令和6年4月1日～令和7年3月31日（令和6年度）です。

【問1】施設状況について

問1-1 貴施設の種別を選択してください。

[]

- ① 病院(200床以上)
- ② 病院(100～199床)
- ③ 病院(99床以下)
- ④ 診療所(有床)
- ⑤ 診療所(無床)
- ⑥ 助産所
- ⑦ 訪問看護ステーション
- ⑧ 居宅サービス事業所
- ⑨ 介護老人保健施設(老健)
- ⑩ 介護老人福祉施設(特養)
- ⑪ ⑨⑩以外の介護保険施設、高齢者施設
- ⑫ 障害者支援施設
- ⑬ 児童福祉施設
- ⑭ 行政機関(保健所、地域包括支援センター等)
- ⑮ 大学・養成所等の教育機関又は研究施設
- ⑯ 事業所
- ⑰ その他

問1-2 貴施設の所在地域を選択してください。

[]

- ① 東部Ⅰ(徳島市、鳴門市、名西郡、板野郡)
- ② 東部Ⅱ(吉野川市、阿波市)
- ③ 南部Ⅰ(小松島市、阿南市、勝浦郡、那賀郡)
- ④ 南部Ⅱ(海部郡)
- ⑤ 西部Ⅰ(美馬市、美馬郡)
- ⑥ 西部Ⅱ(三好市、三好郡)

【問2】看護職員の雇用状況に関すること

問2-1 調査対象年度(令和6年度)における常勤看護職員の採用についてお答えください。

- | | | |
|-----------------------|----------|------------|
| (a) 採用目標数 | [] | 人 |
| (a-1) 採用目標数のうち、退職者補充 | (a-1) | [] 人 |
| (a-2) 採用目標数のうち、4月採用 | (a-2) | [] 人 |
| (b) 採用実績数 | [] | 人 |
| (b-1) 採用実績数のうち、退職者補充 | (b-1) | [] 人 |
| (b-2) 採用実績数のうち、4月採用 | (b-2) | [] 人 |
| (b-3) 採用実績数のうち、県内校出身者 | (b-3) | [] 人 |

問2-2 常勤看護職員の採用について、採用目標数(a)に採用実績数(b)が至らなかった(a > b)施設に伺います。生じた差に対して、どのように対応していますか。

[]

- ① 現員職員の配置を工夫し対応している。
- ② 非常勤職員の雇用や定年退職者の再任用等で対応している。
- ③ 当初の目標ほど採用する必要がなくなったため特段の対応は要しない。
- ④ その他

問2-3 人件費等を考慮しないとすれば、採用目標数に加え、常勤換算であと何人看護職員が必要だと考えますか。

- | | | | |
|----------|-----|----------|---|
| (a) 保健師 | (a) | [] | 人 |
| (b) 助産師 | (b) | [] | 人 |
| (c) 看護師 | (c) | [] | 人 |
| (d) 准看護師 | (d) | [] | 人 |

問2-4 看護職員等が必要な理由を具体的に御記入ください。(例:看護職員の夜勤日数軽減のため)

問2-5 調査対象年度当初(令和6年4月1日時点)の看護職員の在職者数(実人数)と、調査対象年度内(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の看護職員の退職者数を御記入ください。

- | | | | |
|-------------------------|-----|----------|---|
| (a) 4月1日時点 常勤看護職員 在職者数 | (a) | [] | 人 |
| (b) 4月1日時点 非常勤看護職員 在職者数 | (b) | [] | 人 |
| (c) 年度内 常勤看護職員 退職者数 | (c) | [] | 人 |
| (d) 年度内 非常勤職員 退職者数 | (d) | [] | 人 |

問2-6 問2-5(c)常勤職員退職者についてお答えください。

- | | | |
|-----------------------|--------|------------|
| (a) 主な退職理由 | | |
| (a-1) 定年 | (a-1) | [] 人 |
| (a-2) 転職 | (a-2) | [] 人 |
| (a-3) 家族の転勤・転職等 | (a-3) | [] 人 |
| (a-4) 結婚 | (a-4) | [] 人 |
| (a-5) 出産・子育て | (a-5) | [] 人 |
| (a-6) 介護 | (a-6) | [] 人 |
| (a-7) 進学 | (a-7) | [] 人 |
| (a-8) ご自身の体調不良(身体的不調) | (a-8) | [] 人 |
| (a-9) ご自身の体調不良(心理的不調) | (a-9) | [] 人 |
| (a-10) その他・不明 | (a-10) | [] 人 |

(b) 入職後3年以内の退職者数 [] 人

(c) (b)のうち、入職後1年以内の退職者数 [] 人

(d) 早期退職の背景や、傾向、貴院で必要と考える対策等があれば御記入ください。

問2-7 年度末(令和7年3月31日)時点での看護職員数を御記入ください。

(a) 常勤看護職員

(a-1) 保健師	(a-1) [人]
(a-2) 助産師	(a-2) [人]
(a-3) 看護師	(a-3) [人]
(a-4) 准看護師	(a-4) [人]

(b) 非常勤看護職員

(b-1) 保健師	(b-1) [人]
(b-2) 助産師	(b-2) [人]
(b-3) 看護師	(b-3) [人]
(b-4) 准看護師	(b-4) [人]

(c) 非常勤看護職員の常勤換算数

(c-1) 保健師	(c-1) [人]
(c-2) 助産師	(c-2) [人]
(c-3) 看護師	(c-3) [人]
(c-4) 准看護師	(c-4) [人]

※非常勤職員の常勤換算は、下記の計算方法で算出してください。

(非常勤職員の1週間の勤務時間)÷(医療施設で定めている常勤者の1週間の勤務時間)

※四捨五入により、小数点以下1桁としてください。

問2-8 問2-7(a)の常勤看護職員についてお答えください。

(a) 年代

(a-1) 29歳以下	(a-1) [人]
(a-2) 30歳～39歳	(a-2) [人]
(a-3) 40歳～49歳	(a-3) [人]
(a-4) 50歳～59歳	(a-4) [人]
(a-5) 60歳以上	(a-5) [人]

(b) 勤続年数

(b-1) 1年未満	(b-1) [人]
(b-2) 1年以上～3年未満	(b-2) [人]
(b-3) 3年以上～5年未満	(b-3) [人]
(b-4) 5年以上～10年未満	(b-4) [人]
(b-5) 10年以上	(b-5) [人]

問2-9 問2-7(a)の常勤看護職員のうち、年度中に長期休暇(産前産後休暇、病気休暇)を取得した看護職員は何人いますか。

(a) 産前産後・育児休暇	(a) [人]
(b) 病気休暇	(b) [人]
(c) 介護休暇	(c) [人]
(d) その他	(d) [人]

問2-10 年度末(令和7年3月31日)時点で、外国籍の看護職員は何人いますか。

[人]

【問3】看護職員の賃金に関すること

問3-1 調査対象年度(令和6年度)の看護師の賃金についてお答えください。

(注1)設定した条件に該当する個人が実在しない場合は、そのような例を想定して記入してください。

(注2)条件に該当する個人が実在し、個人によって給与額に幅がある場合は、もっとも平均的な例を記入してください。

(注3)「税込給与額」には、通勤手当、住宅手当、夜勤手当、当直手当等を含むものとします。(時間外手当及び新型コロナウイルス感染症に係る危険手当等は含みません。)家族手当は含まず、単身・民間アパートとします。

(注4)夜勤をした場合には、当該の月に三交代で夜勤8回(二交代で夜勤4回)をしたものとします。

(a) 新卒看護師(看護3年課程卒)の初任給

(a-1) 基本給月額 (a-1) [] 円]

(a-2) 税込給与総額 (a-2) [] 円]

(b) 新卒看護師(看護系大学卒)の初任給

(b-1) 基本給月額 (b-1) [] 円]

(b-2) 税込給与総額 (b-2) [] 円]

(c) 勤続10年、31~32歳、非管理職の看護師の給与額

(c-1) 基本給月額 (c-1) [] 円]

(c-2) 税込給与総額 (c-2) [] 円]

問3-2 基本給与額の昇給について、昇格(※)条件をお答えください。(複数回答可)

(※)上位職へ等級・格(ポスト)が上がる

- | | |
|------------------|---------|
| (a) 能力評価 | (a) [] |
| (b) 昇格試験 | (b) [] |
| (c) 上司の推薦 | (c) [] |
| (d) 研修受講 | (d) [] |
| (e) ポストの空き | (e) [] |
| (f) 看護職としての経験年数 | (f) [] |
| (g) 他部署・施設での経験有無 | (g) [] |
| (h) 年齢 | (h) [] |
| (i) 勤続年数 | (i) [] |
| (j) その他 | (j) [] |

問3-3 看護職員の賃金表(※)はありますか。

[]

(※)看護職員個人に適用する賃金額の決定に使用する賃金表

- ① ある
② ない

問3-4 問3-3で「ある」と答えた施設に伺います。

看護職員の賃金表作成の参考としたものをお答えください。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| (a) 国家公務員の医療職俸給表(三) | (a) [] |
| (b) 地方公務員の医療職給料表 | (b) [] |
| (c) 近隣の施設の相場や賃金表 | (c) [] |
| (d) 地域の医師会による賃金表 | (d) [] |
| (e) 日本看護協会が公表している「看護職のキャリアと連動した賃金モデル」 | (e) [] |
| (f) コンサルタント会社等が提案した賃金表 | (f) [] |
| (g) その他 | (g) [] |
| (h) 何も参考としていない | (h) [] |
| (i) わからない | (i) [] |

【問4】看護補助者(看護助手)に関すること

問4-1 年度末(令和7年3月31日)時点での看護補助者数(実人数)を御記入ください。

(a) 総数 [] 人

(b) 年代

(b-1) 29歳以下 (b-1) [] 人

(b-2) 30歳～39歳 (b-2) [] 人

(b-3) 40歳～49歳 (b-3) [] 人

(b-4) 50歳～59歳 (b-4) [] 人

(b-5) 60歳以上 (b-5) [] 人

(c) 勤続年数

(c-1) 1年未満 (c-1) [] 人

(c-2) 1年以上～3年未満 (c-2) [] 人

(c-3) 3年以上～5年未満 (c-3) [] 人

(c-4) 5年以上～10年未満 (c-4) [] 人

(c-5) 10年以上 (c-5) [] 人

問4-2 問4-1(a)総数のうち外国籍の看護補助者は何人いますか。

(a) 在留資格 (a) [] 人

(b) 特定技能 (b) [] 人

(c) 技能実習 (c) [] 人

(d) EPA (d) [] 人

(e) その他 (e) [] 人

【問5】奨学金に関すること

問5-1 看護学生向けの奨学金制度を設けていますか。

[]

① はい

② いいえ

問5-2 問5-1で「はい」と回答した施設に伺います。

調査対象年度(令和6年度)は、何人に奨学金を助成しましたか。

(a) 人数 (a) [] 人

(b) 1人あたり月額 (b) [] 万円

問5-3 問5-1で「はい」と回答した施設に伺います。

奨学金制度について、返済の免除措置を設けていますか。

[]

① 自施設に一定年数勤務すれば、奨学金が全額免除となる。

② 自施設に一定年数勤務すれば、奨学金が一部免除となる。

③ 免除はない。

④ その他

問5-4 問5-1で「はい」と回答した施設に伺います。

貴施設の奨学生について、調査対象年度(令和6年度)の就職状況を御記入ください。

(a) 調査対象前年度末(令和6年3月末)に卒業した奨学生数 (a) [] 人

(b) 自施設就職者数 ※同一法人内の他施設含む (b) [] 人

(c) 自施設以外への就職・進学等 (c) [] 人

問5-5 貴施設への就職者に対して奨学金の返還を支援する制度を設けていますか。

[]

① はい

② いいえ

【問6】実習生の受入れに関すること

問6-1 看護専門学校等(大学も含む)からの実習生の受入れを行っていますか。

[]

- ① はい
- ② いいえ

問6-2 問6-1で「はい」と回答した施設に伺います。

受入れ状況について御記入ください。

- | | |
|---------------|-----------|
| (a) 受入れ学校数 | (a) [] 校 |
| (b) うち、県外の学校数 | (b) [] 校 |

問6-3 受入を実施又は受入の余地を増やすために必要なことがあれば御記入ください。

【問7】キャリア支援に関すること

問7-1 看護職員のキャリアアップのための取組内容についてお答えください。

- | | |
|--|---------|
| (a) 資格取得等に必要な日程に係る勤務体制調整などの支援を実施している | (a) [] |
| (b) 資格取得等のための費用を補助している | (b) [] |
| (c) 資格取得による賃金加算等のインセンティブを設けている | (c) [] |
| (d) 講演会、学会、研修会等への参加に係る勤務体制調整などの支援を実施している | (d) [] |
| (e) 講演会、学会、研修会等への参加に係る費用を補助している | (e) [] |
| (f) 今後検討する | (f) [] |
| (g) 実施する予定はない | (g) [] |

問7-2 問7-1(a)～(c)の取組を実施している施設に伺います。

取得支援している資格の種類についてお答えください。

- | | |
|-------------|---------|
| (a) 専門看護師 | (a) [] |
| (b) 認定看護師 | (b) [] |
| (c) 認定看護管理者 | (c) [] |
| (d) 特定行為研修 | (d) [] |
| (e) その他 | (e) [] |

問7-3 調査対象年度(令和6年度)において、支援により資格を取得された人はいますか。

- | | |
|-------------|-----------|
| (a) 専門看護師 | (a) [] 人 |
| (b) 認定看護師 | (b) [] 人 |
| (c) 認定看護管理者 | (c) [] 人 |
| (d) 特定行為研修 | (d) [] 人 |
| (e) その他 | (e) [] 人 |

【問8】ナースセンターに関すること

問8-1 看護職員を募集する際に、ナースセンターを利用していますか。

[]

- ① はい
- ② いいえ

問8-2 退職する職員に対し、「離職看護師等の届出制度」に関する情報(届出サイト「とどけるん」)

について、個別にお知らせしていますか。

[]

- ① はい
- ② いいえ

【問9】看護職員等の確保策に関すること

問9-1 貴施設における看護職員の人材確保・定着対策の課題をお答えください。（複数回答可）

- | | | |
|---|-------|---|
| (a) 応募者がいない | (a) [|] |
| (b) 紹介業者を利用しているためコストがかかる | (b) [|] |
| (c) 専従の人事担当者がいない | (c) [|] |
| (d) 日勤のみの希望が多い(夜勤の応募者が少ない) | (d) [|] |
| (e) 短時間勤務等の勤務時間の選択・自由度が少ない(勤務日数・時間が固定しているなど) | (e) [|] |
| (f) 適正な評価体制が構築できていない(評価制度・能力開発・キャリアアップなど) | (f) [|] |
| (g) 人材育成を任せられる職員がいない(人材育成がうまくいかない) | (g) [|] |
| (h) 人材育成(能力開発)に必要な予算がない | (h) [|] |
| (i) 育児・介護支援などの取組ができていない | (i) [|] |
| (j) 良好な人間関係、職場づくりの推進が不十分 | (j) [|] |
| (k) 仕事内容に対する不満への対応(多忙・看護業務以外の前残業・他業種協働への不満など) | (k) [|] |
| (l) 給与・福利厚生などの待遇の改善ができていない | (l) [|] |
| (m) 職員の心と体の健康管理 | (m) [|] |
| (n) いじめ・ハラスメント、暴言・暴力対策など | (n) [|] |
| (o) 特にない | (o) [|] |
| (p) その他 | (p) [|] |

問9-2 看護職員等の確保に関して、貴施設独自の取組があれば御記入ください。

※公表できる範囲で結構です。

問9-3 徳島県での看護職員の確保に係る各種事業等について、利用したい支援策やその他の御提案がございましたら御記入ください。

質問は以上です。御協力ありがとうございました。